

連続講座「ホリスティック“患者学”」 ～第1回：患者学がなぜ必要なのか

関東フォーラム委員会では、ホリスティック(全体的)な視点から健康を考える「ホリスティック・セルフケア講座」を開催しています。今年は、患者という立場について掘り下げていく「患者学」について、ホリスティック医学の視点から検討していきます。

第1回目は医療における「中心者」である患者という立場における「患者学」の重要性について、第2回目は患者の支援やそのためのネットワークについて、そして第3回目はスピリチュアリティの視点から患者学を考えてみるという構成で、患者学をホリスティックな視点から検討していきます。

1回目は、「なぜ患者学が必要なのか」について学んでみたいと思います。また、毎回お二人の講師のレクチャーの後には多面的に理解を深めるために、対話<ダイアログ>を行います。

★13:30～14:30「ホリスティック患者学のすすめ」

岸原千雅子(「アルケミア」こころとからだの相談室、当協会事務局長)

まず第1回目のスタートとして、著書『ホリスティック医療のすすめ』の中で、患者学の必要性について提唱されている当協会事務局長の岸原千雅子氏に、なぜ患者学が重要なのかについて、ホリスティック医学の視点からお話しいただきます。

★14:40～15:40「みる、きく、コヒーレンス～アントロポノフィー的の患者学を探る」

山本 忍(神之木クリニック院長、当協会理事)

みる(見る・観る・診る)こと、きく(聞く・聴く・効く)こと、その真ん中にあることを考えていくと、コヒーレンスという言葉に出会います。健康生成論の中心にもなっている概念と一緒に考えてみたいと思います。

★15:50～16:45 <ダイアログ> 岸原千雅子 × 山本 忍

お二人の講演を踏まえて、ホリスティックな視点から患者学をさらに深めていきます。

<会場案内図>



■日 時:2015年4月5日(日) 13:30～16:45

■場 所:ISFnet サポートトレーニングセンター

(港区赤坂7-1-16 オーク赤坂ビル2階)

※銀座線・半蔵門線青山一丁目駅郵便局方面出口から
徒歩7分、青山通り草月会館となり

■参加費: 会員 2,500円 一般 3,500円

■申し込み手順

1. 必要事項(1氏名、2住所、3電話、4E-mail、5会員か一般かの種別)を記入の上、ho-kanto@tg.rim.or.jpまで(締め切り3/27(金))。または、FAXでお申し込み下さい(03-5572-8219)。
2. 申し込み受理のお知らせが到着後1週間以内に参加費をお振込み下さい(1週間以内に連絡がない場合はお問い合わせ下さい)。
三菱東京UFJ銀行 西新宿支店(普通)0057567
特定非営利活動法人日本ホリスティック医学協会
3. お振込み後、受付完了となります。お振込後の参加費はご返却できませんので代理受講でご対応をお願い致します。

◎今後の予告◎

<第2回:患者支援ネットワークとは>6/14(日)13:30～16:45

<第3回:スピリチュアリティからの患者学>7/20(祝)13:30～16:45